

代表的な岐阜県の水稲栽培こよみ(品種:あきたこまち(中山間地域))

『あきたこまち』の品種特性
 (1)品質が安定している早生品種である。

『土づくりのポイント』
 (1)秋耕起と排水の励行。 (2)稲わら全量還元又は堆肥等有機質の適度な投入。
 (3)ニュー味カアツプ(80kg)施肥。 (4)深耕(目標18cm)

月別	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11~3月
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	土づくり期間
生育過程		播種	育苗期	移植期		分げつ期	有効期	確保期	穂数	幼穂形成期	穂ばらみ期	出穂	登熟期			收穫期						
作業名	①種子消毒	②播種 ③耕起 ④基肥施用 ④代かき		田植え・⑤箱施葉散布 ⑥雑草防除						⑦中干し(かかとが3cm沈む程度)			⑨病害虫防除(1) ⑩穂肥散布(1) ⑪穂肥散布(2) ⑫病害虫防除(2)		⑬病害虫防除(3)			⑭落水 ⑮収穫				⑯秋冬耕起の実施 ⑰土づくり資材の施用
水管理				除草剤		早期中干し	⑧間断灌水			中干し	浅水											

作業名	内容(目的)	使用資材名	10a当たり施用量
①種子消毒	種子伝染性病害防除のための殺菌消毒	ヘルシードTフロアブル	200倍に種子浸漬(24時間)
	イネシカレセンチュウ防除	スミチオン乳剤	1000倍に種子浸漬(24時間)
②耕起	代かきに向けての碎土	—	—
③基肥散布	(普通肥料)初中期生育に必要な肥料散布	化成肥料14-14-14	30kg
	(一発肥料)生育～登熟に必要な肥料散布	エムコート583	30~35kg
④代かき	漏水防止と田植えのための碎土・均平	—	—
⑤箱施葉散布	いもち病や害虫防除のために、箱施葉剤散布	Dr.オレセバディート箱粒剤 又はルーチンフライト箱粒剤	50g/箱
⑥雑草防除	稲の生育を阻害する雑草防除(初中期一発処理剤)	デオレ1キロ粒剤 又はハッチリLXフロアブル 又はベッカクジャンボ	1kg 又は500ml 又は250g
	体系処理(代かき後の初期剤+初中期一発)	サクトリエW+ デオレ1キロ粒剤	500ml+1kg

作業名	内容(目的)	使用資材名	10a当たり施用量
⑦早期中干し・中干し	肥料の効かせ方の調節と根への空気(酸素)補給	—	—
⑧間断灌水	根の生育に必要な空気(酸素)と水を補給	—	—
⑨病害虫防除(1)	いもち病防除	コトップ粒剤5	3~4kg
⑩穂肥散布(1)	稲の登熟充実のため追肥(一発肥料使用時は不要)	化成肥料16-0-16	20kg
⑪穂肥散布(2)	稲の登熟充実のため追肥(一発肥料使用時は不要)	化成肥料16-0-16	10kg
⑫病害虫防除(2)	紋枯病防除	リンバー粒剤	3~4kg
⑬病害虫防除(3)	ツマグロヨコバイ、ウンカ類、カメシ類等の防除	スタークル粒剤	3kg
⑭落水	稲の登熟を促し、収穫の作業性を良くするため収穫1週間前に落水	—	—
⑮収穫	品質低下を防ぐため、適期収穫の実施	—	—
⑯土づくり資材	稲の生育のための土づくり	ニュー味カアツプ	80kg
⑰秋冬耕起	有機物、土づくり資材のすき込み、作土深確保のための田起し	—	—